

平成30年8月23日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題 地域農業を守るために ～西いわみ集落営農・法人ネットワーク設立～

(ダイジェスト)

石西地域ではこれまで集落営農組織連絡協議会と特定農業法人ネットワークの2つの組織が併存し、集落営農組織の活性化に取り組んできました。

情勢の変化と共に、組織のことだけでなく地域農業を第一に考え、組織活動を行う必要が出てきたことから、2つの組織の発展的解散のもと、新たに「西いわみ集落営農・法人ネットワーク」が設立されました。

これまで西いわみ集落営農組織連絡協議会は、集落営農組織を会員とし、また西いわみ特定農業法人ネットワークは、特定農業法人を会員とし、組織運営に資する研修会や活動をそれぞれ行ってきました。

しかし、人口減少や高齢化といった地域社会の実情から、まずは地域農業を守ることを第一義とする組織のネットワークが必要である、

という考えのもと2つの組織を統合する形で「西いわみ集落営農・法人ネットワーク」が設立されました。8月9日（木）に津和野町奥ヶ野で開催された設立総会では多くの組織が出席する中、会長に糸賀盛人氏が選任されました。



【設立総会の様子】

設立総会に併せて行われた研修会では「ほ場整備事業について」と題し、島根県農村整備課の廣川課長と西部農林振興センターの田原調整監から、攻めの農業の実現のための条件整備として、省力化や高収益作物導入のためのほ場整備の必要性や事業内容について説明がありました。その後、今年度から始まった奥ヶ野のほ場整備工事や畦畔緑化の試行の状況を確認しました。



【ほ場整備の状況を視察】

農業普及部ではネットワークの活動を通して各組織の活動支援を行うとともに、ほ場整備事業実施地区や指向地区では営農計画の作成段階から関係機関と連携し、対応していきます。